



定期点検

定期点検項目	8 - 2
新車時 1 か月 (または1000km), 点検	8 - 4
6 か月ごとの点検	8 - 4
12 か月ごとの点検	8 - 5
24 か月ごとの点検	8 - 7
48 か月ごとの点検	8 - 8

定期点検項目

53年排出ガス規制適合の2T-GEUエンジンとう載車両の排出ガス浄化装置関係およびその関連の定期点検方法をまとめてあります。他の項目については従来の定期点検要領書に基づいて行なってください。

点 検 整 備 項 目		点検整備時期	備 考
点 火 装 置	進角装置の機能	6 か月ごと	
原 動 機 本 体	排 気 の 状 態	新車時 1 か月 (または1000km) 6 か月ごと	
ブローバイ ガス 還元装置	メターリング バルブの状態	12か月ごと	メターリング オリフィス
	配管の詰まりおよび損傷	↑	
燃 料 蒸 発 ガス 排 出 抑 止 装 置	配管の詰まりおよび損傷	6 か月ごと	チエツク バルブとチ ヤコール キヤニスタ は一体である。
	チヤコール キヤニスタの詰まりおよび損傷	↑	
	チエツク バルブの機能	12か月ごと	
	チヤコール キヤニスタの交換	80000 kmまたは 48か月ごと	
	チエツク バルブの交換	↑	
触 媒 反 応 方 式 排 出 ガ ス 減 少 装 置	本体の取り付けのゆるみおよび損傷	6 か月ごと	
	導管の取り付けのゆるみ、損傷および詰まり	↑	
	排気温センサ取り付け部のゆるみおよび損傷	↑	
排出ガス減少装置	減速時制御装置の作動	12か月ごと	フューエル カット システム
電 気 装 置	O ₂ センサ 作動および取り付け状態	24か月ごと	

点検項目

新車時1か月(または1000km)の点検	6か月ごとの点検	12か月ごとの点検	24か月ごとの点検	48か月ごとの点検
1 排気の状態(エンジン暖機後)	←	←	←	←
	1 進角装置の機能 2 燃料蒸発ガス排出抑止装置 (1) 配管などの詰まりおよび損傷 (2) チヤコール キヤニスタの詰まりおよび損傷 3 触媒反応方式排出ガス減少装置 (1) 本体の取り付けのゆるみおよび損傷 (2) 導管の取り付けのゆるみ、損傷および詰まり (3) 排気温度センサ取り付け部のゆるみおよび損傷	←	←	←
		1 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチエックバルブの機能 2 ブローバイ ガス還元装置 (1) メターリングバルブの状態 (2) 配管の詰まりおよび損傷 3 減速時制御装置の作動	←	←
			1 O ₂ センサ (1) 作動および取り付け状態	←
				1 チヤコール キヤニスタの交換 2 燃料蒸発ガス排出抑止装置のチエックバルブの交換

新車時1か月（または1000km）、点検

排気の状態点検（エンジン暖機後）

- (1) エンジンを停止する。
- (2) 停止後ただちにアクセルペダルを操作しないで再始動する。
- (3) 約3分間のアイドル放置後指示が安定したところでCO・HC濃度を測定する。

CO濃度 1.0%以下

HC濃度 800PPM以下

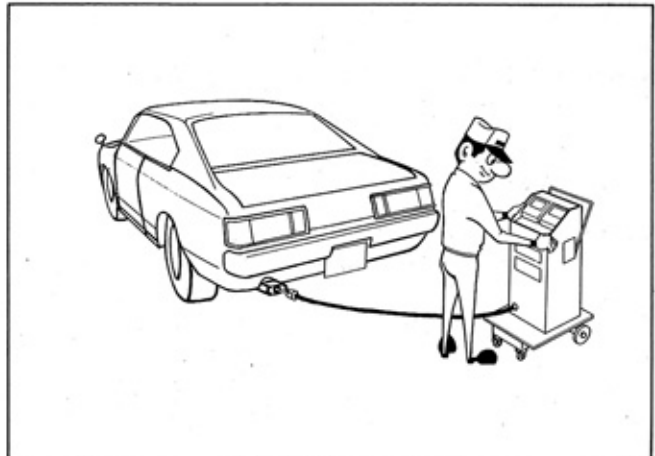


図8-1 CO、HC濃度確認

M3900

6か月ごとの点検

新車時1か月（または1000km）の点検項目に下記項目を追加する。

進角装置の機能点検

- (1) タイミングライトでタイミングマークを見ながらエンジン回転を上げていったとき、ゆつくり進角し、アイドル回転にするとすみやかにもどること。

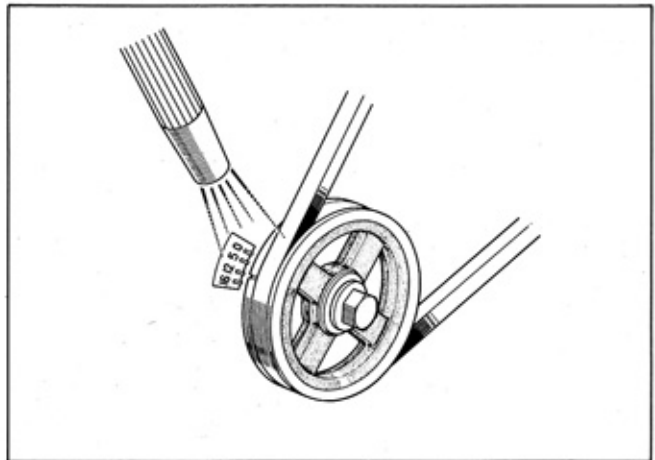


図8-2 進角装置の機能点検

M3016

燃料蒸発ガス排出抑止装置の点検

- (1) 配管などの詰まりおよび損傷、
- (2) チャコールキャニスタの詰まりおよび損傷

① キャニスタの詰まり点検

- a 右図A部およびB部に接続されたホースを抜く。
- b A部を吹いたとき通気がなくB部を吹いたときに通気があればよい。

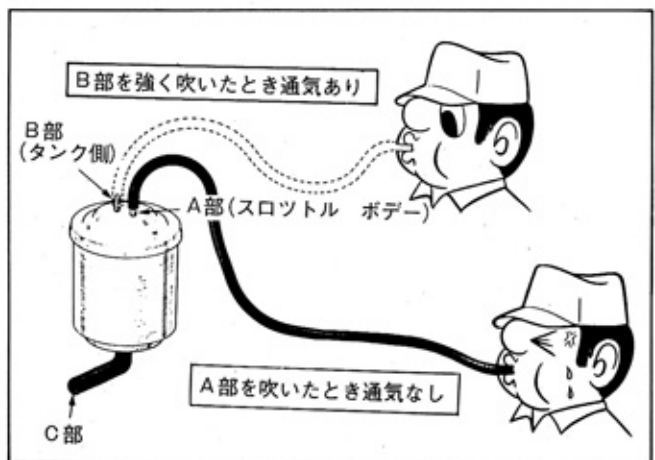


図8-3 キャニスタ点検 (1)

S8493

- c A部を指でふさぎC部を吹いたとき、B部より通気があること。
- d B部を指でふさぎC部を吹いたとき、A部より通気があること。



図8-4 キヤニスタ点検 (2)

S9579

触媒反応方式排出ガス減少装置の点検

- (1) 本体 (CC_R ASSY) の取り付けのゆるみ、損傷
- (2) 導管の取り付けのゆるみ、損傷
- (3) 排気温センサ取り付けのゆるみ、損傷 (配線を含む)

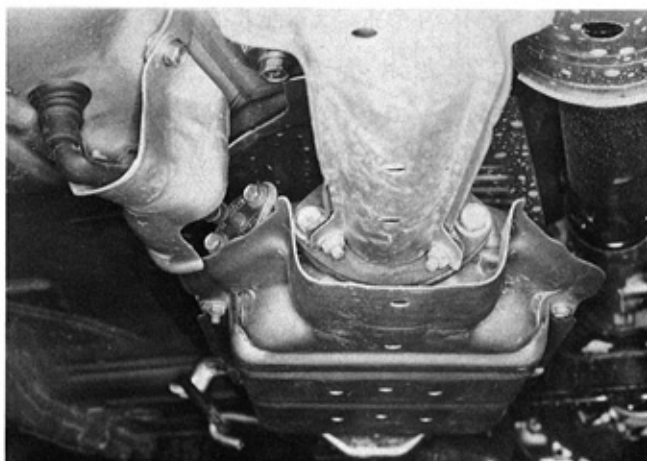


図8-5 三元触媒

H 5502

8

12か月ごとの点検

6か月ごとの点検項目に下記項目を追加する。

燃料蒸発ガス排出抑止装置のチエックバルブの機能点検

6か月ごとの点検の「チャコール キヤニスタの詰まり点検」に含まれる。

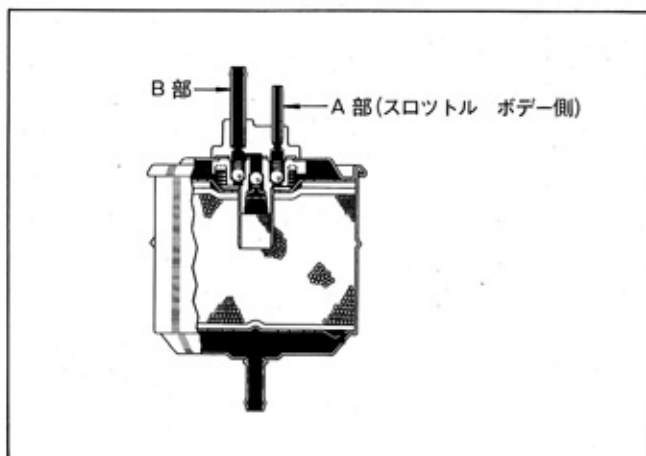


図8-6 キヤニスタ断面

M 7582

ブローバイ ガス還元装置の点検

(1) メターリングバルブ（オリフィス）の状態点検

- ① サージタンクのベンチレーションホースをエンジン入部より吹いたとき軽く吹けること。

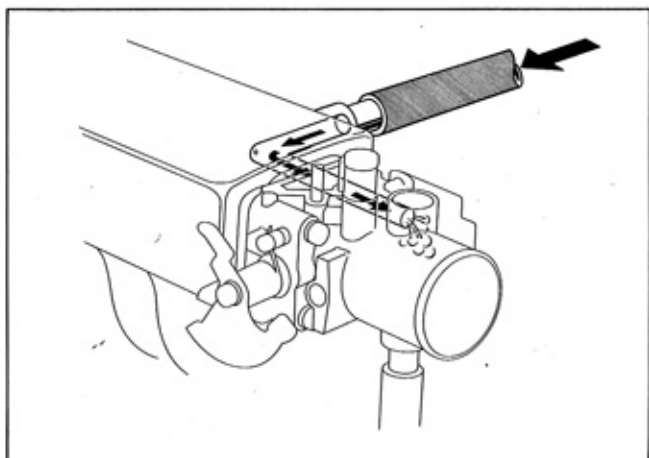


図8-7 ブローバイ ガス還元装置 (1)

M5876

- ② エアクリーナホースをはずし、スロットルボデーのPCVポートをふさいで上記のように吹いたとき抵抗があり吹けること。

(2) 配管の詰まりおよび損傷

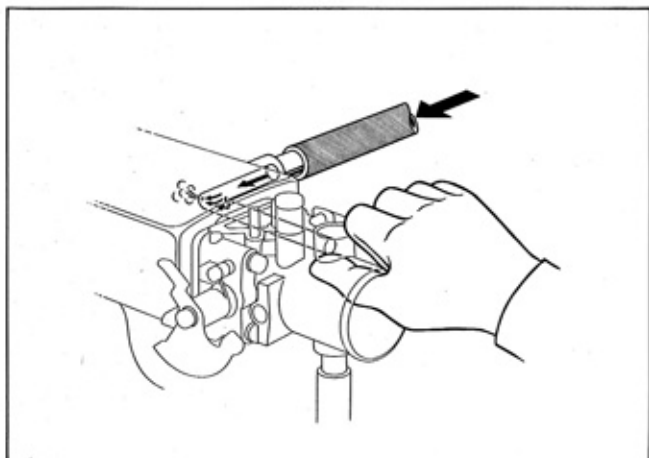


図8-8 ブローバイ ガス還元装置 (2)

M5877

減速時制御装置の作動点検（暖機後）

- (1) 回転計を接続する。
- (2) スロットルボデー ↔ エアバルブ間のホースをエアバルブ側ではずす。
- (3) エアバルブ ↔ サージタンク間のホースをサージタンク側ではずす。
- (4) (2)ではずしたホースをサージタンクのユニオンへ接続する。
- (5) エンジンを始動させたとき約1300～1700rpmの範囲でハンチングを繰り返すことを確認する。

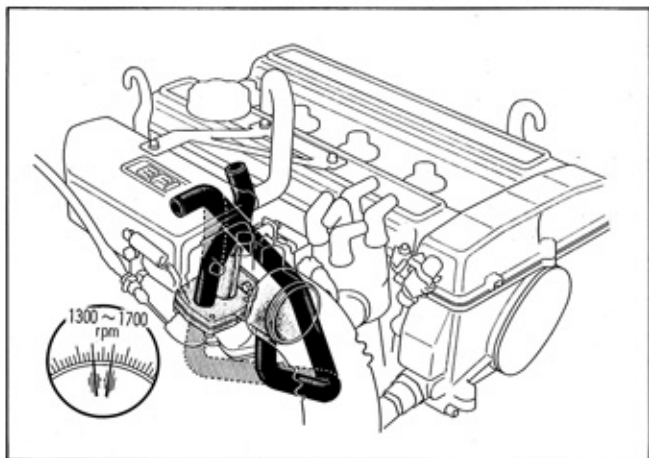


図8-9 減速時燃料カット点検

M5868

24か月ごとの点検

O₂ センサの作動および取り付け状態
点検

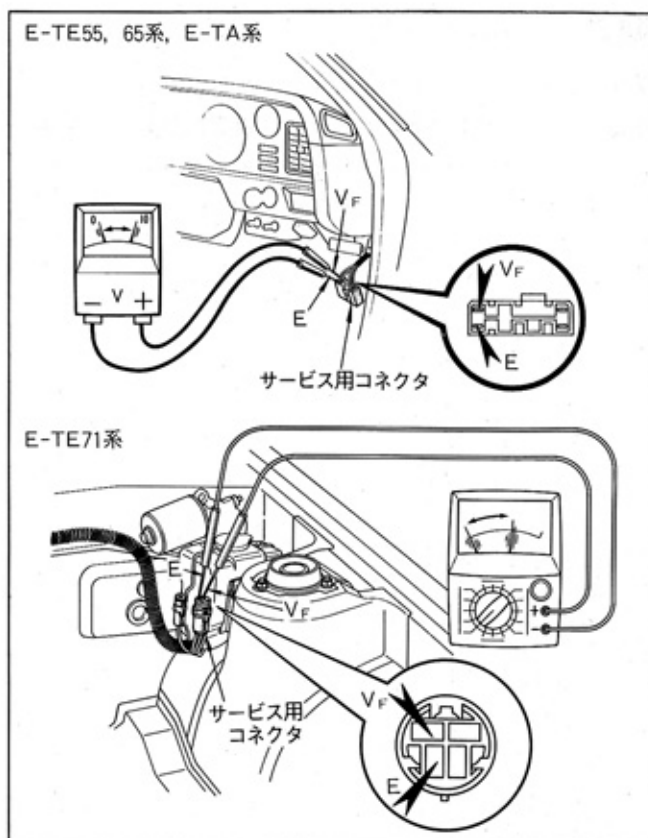
(1) 作動状態点検

- ① エンジン暖機後、エンジン回転2500 rpmで90秒レーシング後2000 rpmで保持する。
- ② O₂センサ チエック用コネクタのV_F ↔ E間の電圧をサーキットテスタで点検したとき、指針が10秒間に8回以上振れること。

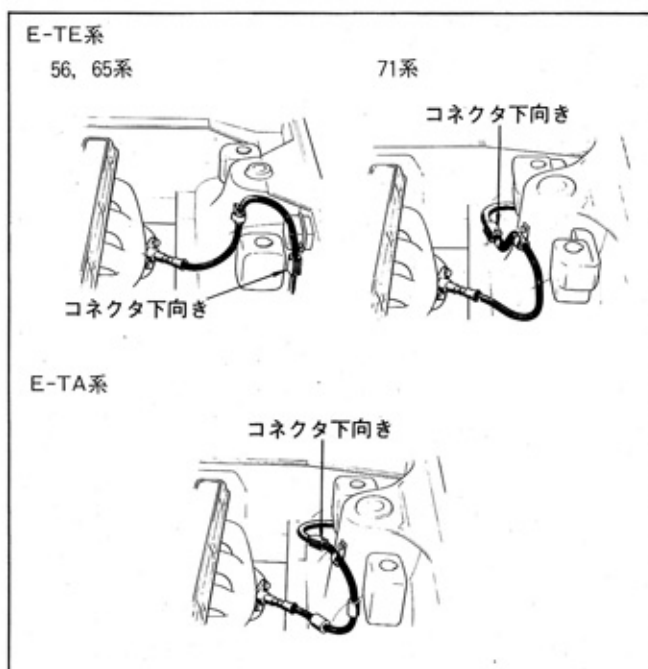
〈注意〉

V_FとE端子以外の端子には絶対に接触させないこと。

- (2) センサ取り付け後およびゴム チューブ通気口から排気ガスのもれがないこと。
- (3) クランプ部にゆるみ損傷のないこと。

図8-10 O₂ センサ作動点検

M5878 M9740

図8-11 O₂ センサ取り付け状態点検

M5799 M9736 M5800

この修理書を手ご希望のかたは、お近くのトヨタ カローラ、トヨタ スプリンター、トヨタ カリーナ、トヨタ セリカ販売店サービス部あてに、代金を添えてお申し込みください。

昭和53年 9月 4日 初版発行

昭和57年10月 8日 11版発行

(無断転載を禁ず)

2T-GEU エンジン修理書

実 費 8 0 0 円

編 集 トヨタ自動車株式会社

発 行 サ ー ビ ス 部

愛知県西春日井郡春日村

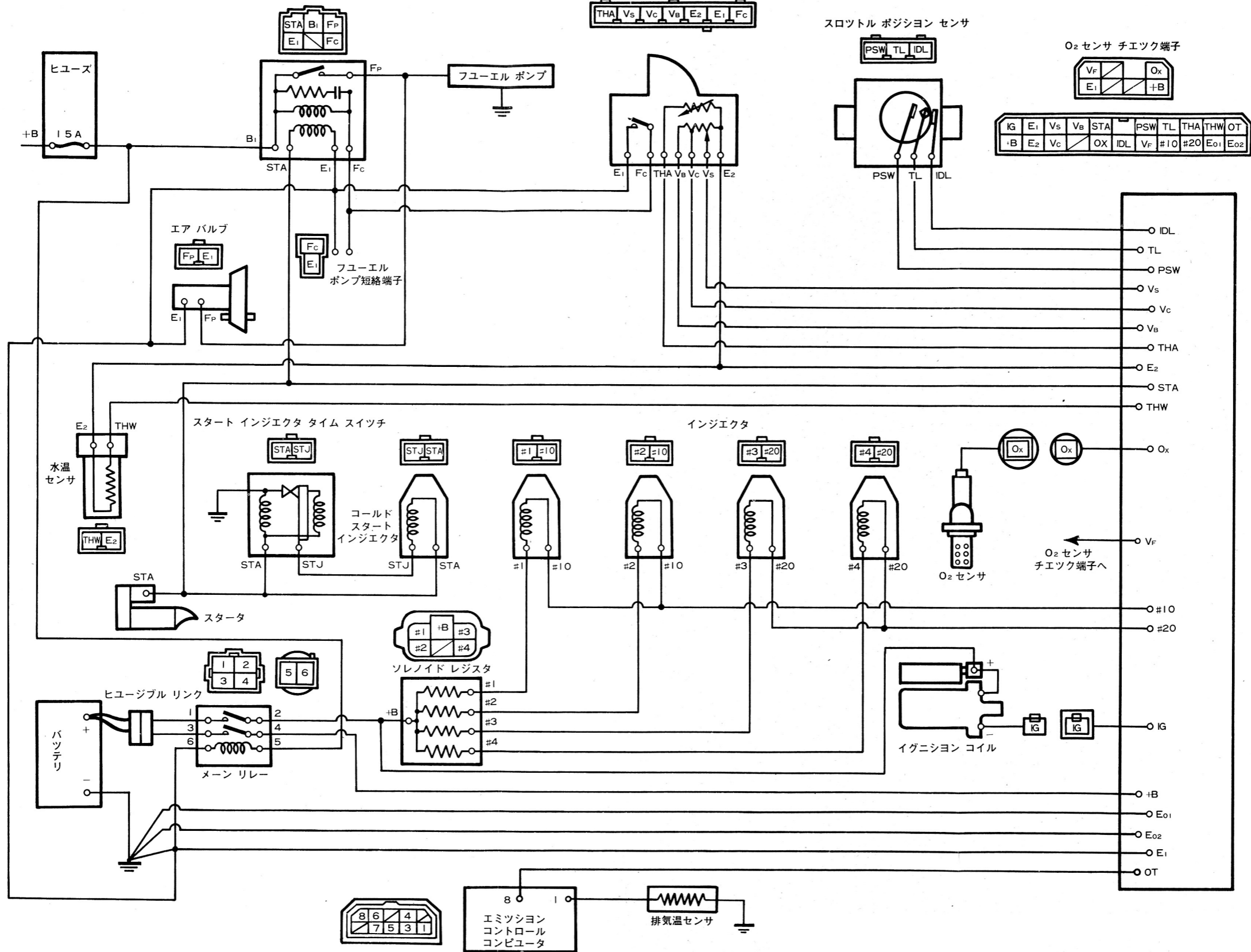
(J)

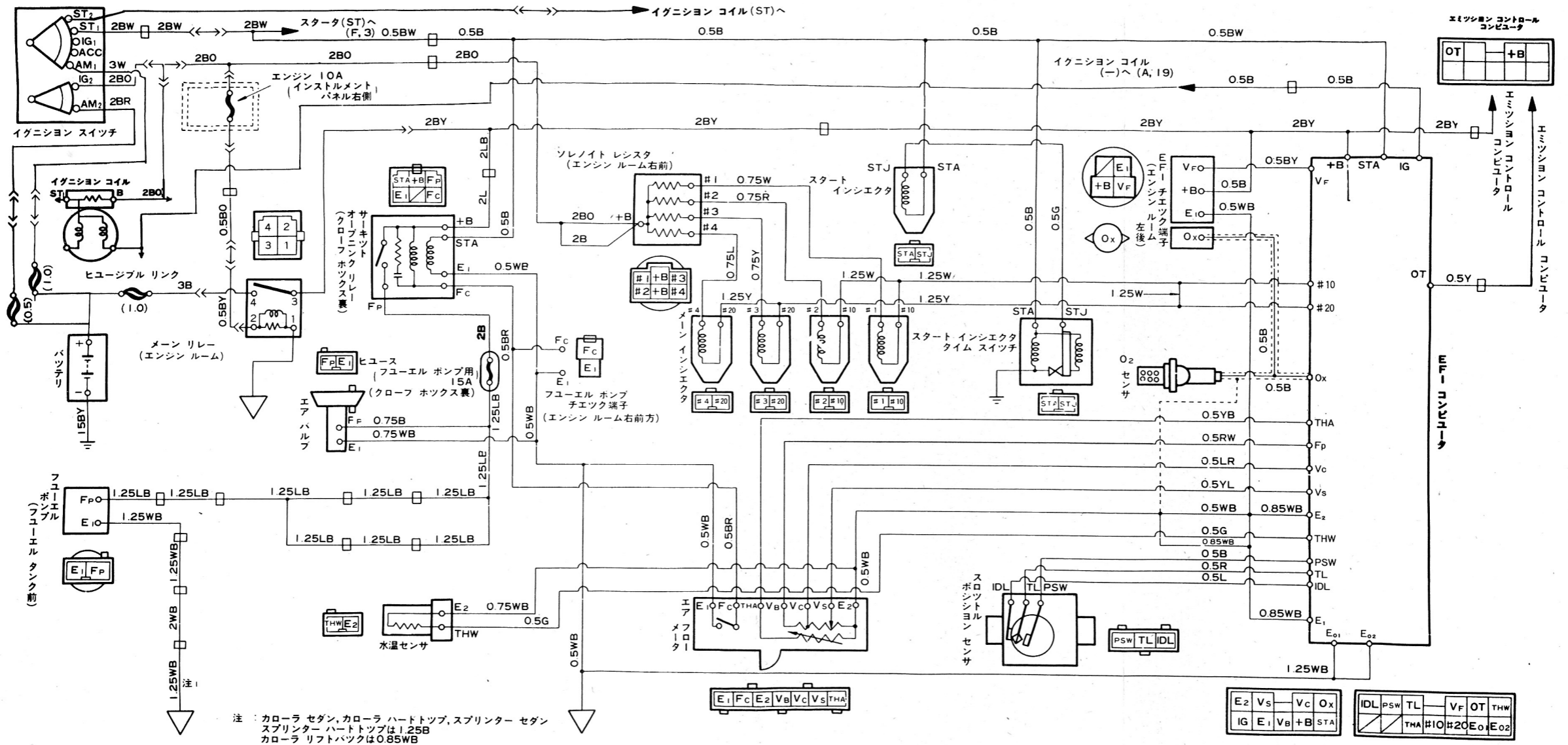
サーキット オープニング リレー

エア フロー メータ

スロットル ポジション センサ

O₂ センサ チェック端子





注 : カローラ セダン, カローラ ハードトップ, スプリンター セダン
 スプリンター ハードトップは1.25B
 カローラ リフトバックは0.85WB

-コネクタを表わす。
-ジャンクション プロック内のコネクタを表わす。
- ▽ボデー アースを表わす。



トヨタ自動車株式会社